

## 千葉公慈住職が千葉南税務署広報大使に就任 & 税務署関係団体の創立 30 周年を記念し講演

租税の意義や役割など「税を考える週間」にちなんだPR、更には「確定申告期」の広報をしてもらおうと、千葉南税務署（中央区蘇我5、本田秀次署長）は、11月14日（火）、市原市の宝林寺住職、千葉公慈さん（53）に「広報大使」を委嘱しました。「税を考える週間」を機に「国税庁ホームページ」に目を向けてもらうため、同署管内在住で、駒沢女子大学教授でテレビやラジオ番組などで活躍し知名度がある千葉さんを大使に任命しました。

委嘱状交付式で本田署長が、委嘱状と広報大使の名刺を千葉さんに交付。千葉さんは「講演会などさまざまな機会を通じて、国税庁ホームページのPRをしていきたい」と話しました。

当日は、このほか同税務署の設置と関係6団体（千葉県税理士会千葉南支部、千葉南税務署管内納税貯蓄組合連合会、一般社団法人千葉南青色申告会、一般社団法人千葉南法人会、千葉南間税会及び千葉南小売酒販組合）の創立30周年を記念して、千葉さんが「ブッダの夢～「七不衰法」と現代～」と題して「ブッダが説いた人類の理想社会に触れながら、あるべき社会の姿」について講演しました。

### 【当日の様子】

